



成果指標				
成果指標	今年度の事業費÷前年度の事業費＝対比率(100%以下を目標)			
指標設定の考え方	目標が定めにくいため、前年度と比較する。(100%以下を目標)			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	100%	100%	100%	0
実 績	102%	106%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	公共土木施設の維持管理のため、必要な経費である。今まで以上に効率的・効果的に行っていくため、施設ごとの維持管理作業を見直すなどコスト縮減に向けた取り組みを行う必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	街灯電気代、水道代、積算システム保守料、海岸施設管理委託料、測量CAD負担金、協議会・同盟会等負担金などの維持管理上、必要な一般事務経費であります。今後も不必要な消耗品の買いだめはしないように努める。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題